

平成 25 年度 指導と評価の年間計画（シラバス）

教科	通信技術	単位数	3	学科・学年	電子情報科 3 年 (Aコース)				
使用教科書	通信技術 コロナ社	副教材	なし						
到達目標（具体的な取組【評価規準を念頭に置いた指導上の留意点】）					評価の重点				
<ul style="list-style-type: none"> 有線通信の基本である電話機と交換機、通信ケーブルを通して通信についての仕組みを理解させるとともに、アナログ信号からデジタル信号への変換の原理を理解させる。 無線通信における電波の発生原理と送信機、受信機の原理と仕組みを理解させる。 通信機器に使われる、各種素子の動作とその応用例を示し、その活用について考えさせる。 テレビジョン受像機を通して画像通信の仕組みを理解させる。 					関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解	
学期	月	学習項 (単元名、教材、学習領域)	主な学習活動・評価のポイント	評価方法					
前期	4	1. 有線通信 1.1 送信システム 1.2 信号の伝送 1.3 電話機と交換機 1.4 通信ケーブル 1.5 データ通信 1.6 光通信 1.7 通信法規の概要	電話番号の意味を通して電話網や日本の通信システムを把握させる。 多重通信のシステムや光通信の効用についても理解を深めさせる。	観察記録	○	○			
	5			ノートの提出			○		
				演習		○			
6	プリントの作成			○					
	前期中間定期考査					○	○		
中期	6	1. 無線通信 2.1 無線通信の概要 2.2 電波とアンテナ 2.3 無線機器 2.4 各種無線通信 2.5 無線応用	電波の発生原理、アンテナの原理、無線通信の深い理解を促す。	観察記録	○	○			
	7			ノートの提出			○		
				演習		○			
	8			プリントの作成			○		
				前期末定期考査					○
後期	9	2. 画像通信 2.1 画像通信の概要 3.2 ファクシミリ 3.5 デジタルテレビジョン 3.6 ケーブルテレビシステム 3.7 マルチメディアの通信技術	日常生活で使われているテレビジョンの原理を学ぶ。	観察記録	○	○			
	10			ノートの提出			○		
				演習		○			
11	プリントの作成			○					
後期	11	3. 通信用入出力機器 4.1 情報のデジタル装置	通信技術が電気の発展の基礎となることを理解させる。	観察記録	○	○			
				ノートの提出			○		
	12	4.2 入出力装置 4.3 録音・再生機器	回路の学習を深める。	演習		○			
				プリントの作成			○		
	1	後期末定期考査				○	○		
2									
3									